

(公表用様式)

業務再点検結果報告

組織名	農林水産研修所つくば館	連絡先	副所長(つくば館長) 波川(029-839-9481)
所管する業務の概要	・農林水産省職員を対象とした研修の実施 ・都道府県の普及指導員等を対象とした研修の企画・立案・実施・指導等		

1. 基本的な心構え・行動	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
・「接遇マニュアル」や「ビジョン・ステートメント」を踏まえて作成した「農林水産研修所行動規範」に基づき、研修受講者や研修講師等への親切・丁寧な対応と挨拶の励行	・事務の効率化、情報の共有化をさらに推進するため、収集した情報の整理を進めるとともにネットワークシステム上の共通ファイルの構成内容や階層構造について更に工夫していく。
・研修終了後、館長、担当技術研修指導官、教務担当係長をはじめ職員が率先して研修受講者に対する丁寧かつ感謝の気持ちを込めた見送りの実施	・外部からの問合せに対する親切・丁寧な対応を行うために、担当職員ごとの業務の把握が必要なため、「業務対応表」を作成し、電話の取次ぎがスムーズに行われるように工夫したところ。

2. 政策・事業等の企画立案・推進	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
・普及指導員を対象とした研修において、グループ討議等を通じて、農業の生産現場や普及指導の現場における問題点や課題等の情報を収集している。また、普及指導員研修や農業機械化研修等において、アンケート調査結果を整理・分析し、次年度の研修計画の検討に資する。	・農業の生産現場や普及指導の現場から得られた情報については、必要に応じて参考情報として本省生産局技術普及課を通じて関係部局に伝える。
・普及指導員研修については、研修の企画・立案等について本省等と意見交換や打合せを密接に行うほか、農林水産省職員を対象とした研修については、具体的な研修業務についての役割分担表を作成し、本省担当原課と役割分担を明確にしつつ円滑な研修の実施に取り組む。	・研修受講者からのアンケート調査結果において、宿泊施設の環境等に関する情報や要望について整理し、関係機関にも提供し情報の共有化を行い、関係機関との連携の一層の強化を図る。

3. リスク管理	
<ul style="list-style-type: none"> ・現在行っている取組や工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・点検によって得られた課題とその改善策
<ul style="list-style-type: none"> ・農業機械化研修では、農業機械の走行・作業機の操作・機械の整備等の実習を伴うものが多いことから、研修受講者等の安全確保に特に注意を払っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として毎週職員の参加により開催される「館会」等を通じて、リスクや安全についての問題意識を高め、さらなる注意喚起を進めていく。
<ul style="list-style-type: none"> ・農業機械実習に伴うヒヤリ・ハット事例を収集しているところ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業機械実習に伴うヒヤリ・ハット事例を整理し、情報の共有化を図る。

4. 食の安全に関する取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・現在行っている取組や工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・点検によって得られた課題とその改善策
<ul style="list-style-type: none"> ・当館で実施する「食の安全」に関する研修における職員の聴講や本省で開催される「食品安全に係る科学セミナー」への職員の参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、希望者はもとより、計画的に職員を「食の安全」に関する研修やセミナー等に参加させるようにしたい。

5. その他の重要な取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・現在行っている取組や工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・点検によって得られた課題とその改善策
<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の高度化と研修受講効果の向上を図るため、研修講師候補者に関する情報を構築するとともに立地条件を活かした現地研修やグループ討議等を取り入れた「参加型研修」を積極的に取り入れている。 ・各種農業機械については、部品を購入し、可能な限り自前で修理を行い経費の削減を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年4月1日付けで農林水産研修所の組織再編が行われたところであり、本所・つくば館・つくば館水戸ほ場と物理的に距離が離れているものの、密接な連絡・連携をさらに推進していく。
<ul style="list-style-type: none"> ・短期的に全国から多数の研修受講者の来館・帰館が繰り返し行われ、自前の宿泊施設を持たず近郊の「共同利用施設」に主として宿泊するという特殊性に鑑み、関係機関との連携や情報収集を通じて「新型インフルエンザ対策方針」を取りまとめることとしている。手洗い用薬剤・うがい薬の配置、マスクの確保は措置済み。 	<ul style="list-style-type: none"> ・つくば地区に存在する他の研修実施機関との研修情報の共有化を図る。